

資 料 提 供 令和 7 年 8 月 27 日			
課 名	自然環境課	課 名	港湾振興課
担当者	田中	担当者	吉牟田
電 話	082-513-2933	電 話	082-513-4019
内 線	2930	内 線	4018

福山港におけるハイイロゴケグモの確認について

福山港で実施しているアリ類の定期調査において、8月24日（日）に外来生物法で特定外来生物に指定されているハイイロゴケグモと疑われるクモを発見したため、環境省中国四国地方環境事務所による同定の結果、8月27日（水）にハイイロゴケグモと確認された。

なお、今回の発見が県内での初確認となる。

1 発見状況

（1）発見場所

福山港国際コンテナターミナル敷地内

（2）発見・捕獲した個体

2 個体、卵のう 1 個

（3）発見した状況

コンテナ側面に付着しているところを発見

（4）対応

発見したハイイロゴケグモと疑われるクモを殺虫処分し、周辺を調査したが、そのほかの場所では確認されなかった。

2 対応

8月26日（火）に福山港国際コンテナターミナル利用者に対して、ハイイロゴケグモと疑われる個体の確認について周知及び注意喚起を行っているところであり、当該生物と同定されたことを速やかに周知する。

念のため、8月31日（日）に発見箇所の半径 20 メートル内に薬剤を散布する。

3 その他

ハイイロゴケグモは毒を持つため、生きた個体を素手で触らないようにしてください。

○ハイイロゴケグモを発見した場合は、お住まいの自治体にご連絡ください。

○ハイイロゴケグモを見つけても、素手で捕まえたり、さわらないようにしてください。

○駆除するには家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）を用いるほか、靴で踏みつぶす等の物理的な方法があります。

○周囲にも潜んでいたり、卵がある可能性があるので、よく確認するなど注意してください。

○咬まれたときは、すみやかに医療機関にご相談ください。

○岡山県及び山口県でも過去に発見事例があるため、引き続き注意してください。

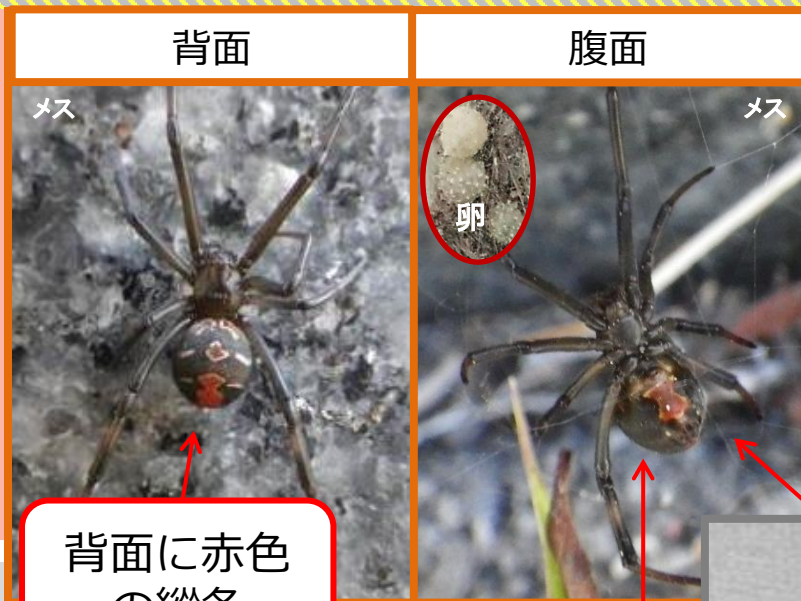
○ハイイロゴケグモと思われる個体を発見した場合の連絡先

名 称	連絡先
福山市 経済環境局 環境保全課	084-928-1072
環境省 中国四国地方環境事務所 野生生物課	086-223-1561
広島県 自然環境課 野生生物グループ	082-513-2933

※今回確認されたハイイロゴケグモ



セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ にご注意ください！



和名 セアカゴケグモ
科名 ヒメグモ科 (Theridiidae)
学名 *Latrodectus hasseltii*
原産地 オーストラリア
特徴 成熟した雌の体長は、約0.7～1cm。
 全体が光沢のある黒色で、腹部の背面に
 目立った赤色の縦条がある。

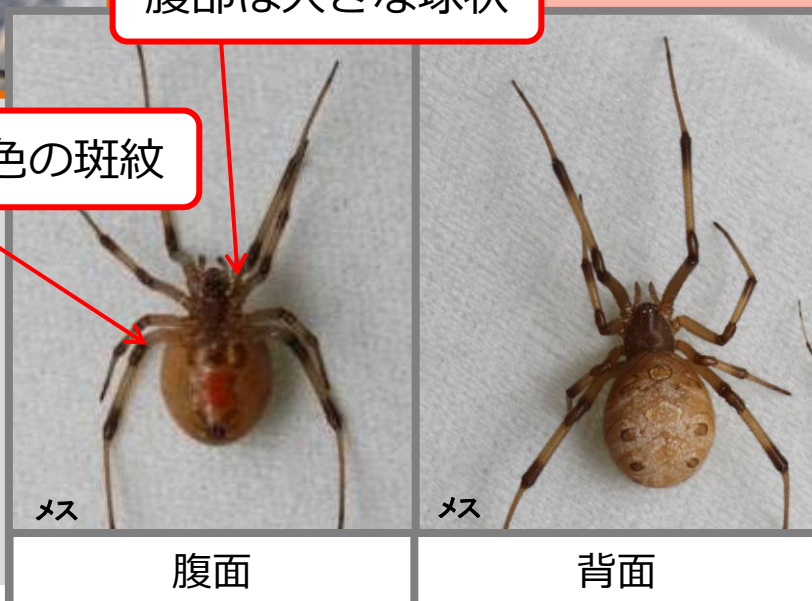
※左写真は、若い個体であり、
 成熟すると白い斑紋は消える

腹部は大きな球状

背面に赤色
 の縦条

腹面に赤色の斑紋

和名 ハイイロゴケグモ
科名 ヒメグモ 科(Theridiidae)
学名 *Latrodectus geometricus*
原産地 亜熱帯地方
特徴 成熟した雌の体長は、約0.7～1cm。
 ハイイロゴケグモの色彩はさまざまで、腹部
 背面が真黒のもの、茶色や灰色を基調として
 斑紋を有するものなど変異が多い。



腹面

背面

ゴケグモの被害について

※毒をもっているのは雌だけです

咬まれたときの症状

- 局所の疼痛、熱感、痒感、紅斑、硬結、
 区域リンパ節の腫張が生じます
- 通常は数時間から数日で症状は軽減しますが、
 時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの
 全身症状が数週間継続することがあります
- 重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じます

咬まれた場合は

- 咬まれたときは、すみやかに医療機関に
 ご相談ください
- 重症化した場合は抗毒素血清による治療が
 必要です
- 咬んだクモの種類がわかるように、できれば
 殺したクモを病院へご持参ください

咬傷例

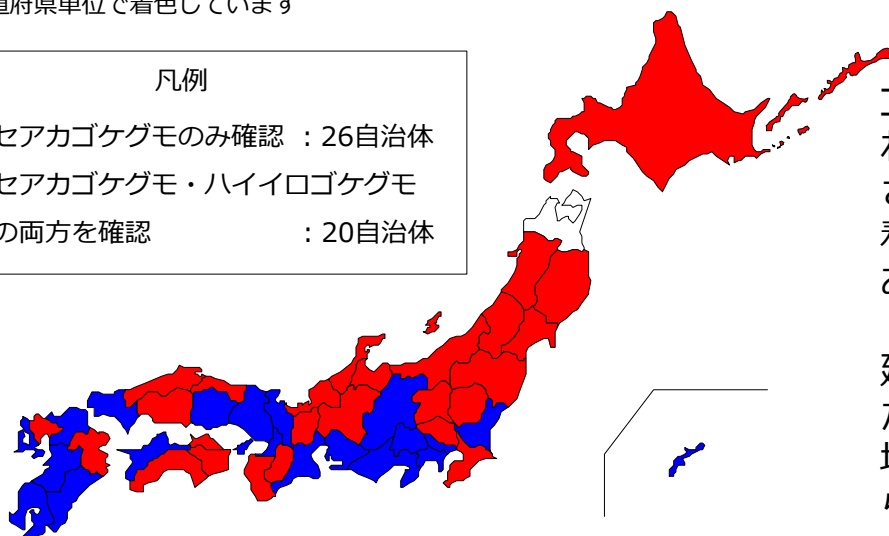
- ゴケグモは攻撃性はありません
 が、触ると咬まれることがあります
- 日本では主に6～10月にセアカ
 ゴケグモの咬傷例が報告されて
 おり、ほとんどが軽症ですが、
 重症化することもあります
- 日本ではセアカゴケグモの毒で
 死亡した例はありませんが、
 オーストラリアでは死者が出て
 います
 (血清開発後の死亡例はありません)

今までにセアカゴケグモ・ハイイロゴケグモが 確認された都道府県（全46都道府県）

（2025年1月現在）

※ゴケグモが今までに1回しか確認されていない場所も含む
※都道府県単位で着色しています

凡例	
■	セアカゴケグモのみ確認：26自治体
■	セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ の両方を確認：20自治体



セアカゴケグモとハイイロゴケグモは、港湾地域又はそれに隣接する地域で多く発見されており、コンテナ等に付着して侵入してきた可能性があります。

国内では、貨物やコンテナ、建築資材、自動車等に営巣したものが運ばれた結果、生息域が広範囲に拡大したと考えられています。

ゴケグモの生息する場所

- 日当たりの良い暖かい場所で、地面や人工物の窪みや穴、裏側、隙間に営巣します
例)自動車、プランターの底、室外機の裏、庭に置いた靴の中など
- 屋外に置かれていた傘、衣服、おもちゃ等に付着して、屋内に持ち込まれる可能性があります
- ゴケグモに咬まれないように屋外で作業する場合は、軍手など手袋を着用してください

ゴケグモを発見した場合

- ゴケグモを発見した場合は、お住まいの自治体にご連絡ください
- ゴケグモを見つけても、素手で捕まえたり、さわらないようにしてください
- 駆除するには家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）を用いるほか、靴で踏みつぶす等の物理的な方法があります
（生きたままのゴケグモを洗い流さないよう注意）
- 周囲にも潜んでいたり、卵がある可能性があるので、よく確認するなど注意してください

ゴケグモを拡散しないために・・・

ゴケグモの国内での分布域の拡大の抑制のため、ゴケグモが生息している地域からの車での移動や貨物の運送のときなど、ゴケグモが車や荷物に付着した状態で移動しないようご注意ください

セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ等のゴケグモ属は、
外来生物法に基づく“特定外来生物”に指定されています

外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害の防止を目的に、外来生物法では特定外来生物を指定し、これらの生きた個体を持ち運んだり、飼育したりすることを禁止しています。セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ等のゴケグモ属については、人の生命又は身体に関わる被害があることから、特定外来生物に指定されています。

外来生物法について詳しく知りたい方は下のURLをご覧ください

<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>